

事前のお知らせ



「遊びのひろば」練馬の児童館展 開催

～あそぼう！ みんなの児童館～

と き 1月25日(土)～26日(日) ところ 練馬区立美術館 (貫井1-36-16)

25日から、練馬区立美術館で、「第17回練馬の児童館展」が始まる。同展は、地域の「子育て・子育て支援」施設である児童館を広くPRし、理解を深めてもらうことを目的に開催されており、毎年、親子連れなど約6000人以上の人でにぎわいをみせる。

「あそぼう！ みんなの児童館」をスローガンとして、区立児童館18館(厚生文化会館児童室を含む)を利用している子どもたちの日常の様子などを、工夫を凝らして紹介しているほか、手作りゲームや楽器などで楽しむ子どもたちの姿が多く見られる。入場無料。

主催：練馬区立児童館・厚生文化会館



【昨年の様子】

【見どころ・特徴】

練馬の児童館展の特徴は、「みて さわって あそべる」コーナーがあること。

展示コーナーの入り口では、練馬のゆるキャラ「ねり丸」の壁飾りがお出迎えする。それぞれの表情の違いがユニークで、独創性豊かな「はにわ」の作品は「みて」楽しむことができる。

小麦粉入りの風船人形「こむぎん」は、独特の手触りが特徴。表情豊かな人形の様子は、実際に「さわって」楽しむこともできる。その他、ミニボールを転がして遊ぶゲームや、「はこくじ」・「おみくじ」で「あそべる」コーナーが設置される。今年は、展示されている点字用紙を再利用したエコバックを、実際にその場で製作して持ち帰ることもできるコーナーを新設するなど、随所に来館者にも楽しんでもらえるような工夫がされている。

会場では区内の児童館と厚生文化会館児童室すべての「じどうかんだより」が配布されており、区内の各児童館(室)の情報を得られるとともに、活動の成果を垣間見られる機会となっている。



【「こむぎん」】



【展示予定の作品】

【練馬の児童館展とは】

「児童館展」は、区内の児童館18館(厚生文化会館児童室を含む)の日常の活動や事業を紹介するとともに、日頃児童館などを利用している子どもと大人と一緒に制作した作品を展示し、鑑賞・体験してもらうことで、地域の「子育て・子育て支援」施設である児童館の理解を深めてもらうことを目的としている。スローガンは「あそぼう！ みんなの児童館」。

昭和52(1977)年から、「児童館合同作品展」として開催してきたものを、平成10年に会場を練馬区立美術館に移し、「練馬の児童館展」としてリニューアルして毎年1月に開催している。通算すると、今回が37回目となる。毎年約6,000人以上が同展に訪れる。

【問い合わせ】

こども家庭部 子育て支援課 子ども育成係 電話：03-5984-5827